

## スーパー防錆 各種試験 資料

新技術情報データベース NETIS プラスWEB 資料より抜粋

### 塩水噴霧試験

- 1.試験実施日:2006年9月13日～2007年5月23日
- 2.試験場所:社内 埼玉県幸手市
- 3.目的:試験片を自然状態と同じ人工環境化に置き塗膜の劣化を確認するため。
- 4.試験方法:JIS K 5400 9.1 塗膜のサイクル腐食試験方法による。
- 5.試験結果:6000時間経過しても、殆ど錆汁がなかった。
- 6.考察:6000時間経過後も錆汁が殆ど無いので、耐腐食性が満足できることを確認した。

### ホルムアルデヒド放散量試験

- 1.試験実施日:2010年6月2日
- 2.試験場所:塗料検査協会東支部 神奈川県藤沢市
- 3.目的:シックハウス病の原因である塗膜に含まれる化学物質の濃度を確認するため。
- 4.試験方法:JIS K 5601-4-1:2003  
「塗料成分試験方法一第4部:塗膜からの放散成分分析一第1節:ホルムアルデヒド」3.デジ  
ケータ法による。
- 5.試験結果:測定下限値で不検出であった。
- 6.考察:測定下限値 0.03)なので、ホルムアルデヒド放散量が不検出であり満足できることを確  
認した。

### 付着性試験

- 1.試験実施日:2012年2月23日
- 2.試験場所:塗料検査協会東支部 神奈川県藤沢市
- 3.目的:塗膜が下地面に付着して離れにくい性質を確認するため。
- 4.試験方法:JIS K 5551:2008 構造物用錆止めペイント 7.12 付着性に順ずる。
- 5.試験結果:カットの縁が完全に滑らかで、どの格子の目にもはがれが認められなかった。
- 6.考察:分類0なので、付着性が満足していることを確認した。

## 揮発油性試験

- 1.試験実施日:2012年2月23日
- 2.試験場所:塗料検査協会東支部 神奈川県藤沢市
- 3.目的:揮発油に対して変化しにくい塗膜の性質を確認するため。
- 4.試験方法:JIS K 5551:2008 構造物用錆止めペイント 7.14 揮発油性に順ずる。
- 5.試験結果:しわ、膨れ、割れ及び剥がれを認めず、更に液の着色及び濁りが認められなかった。
- 6.考察:しわ、膨れ、割れ及びはがれを認めず、更に液の着色及び濁りがないので、塗膜の性質が満足していることを確認した。

## サイクル腐食性試験

- 1.試験実施日:2012年2月23日
- 2.試験場所:塗料検査協会東支部 神奈川県藤沢市
- 3.目的:試験片を自然状態と同じ人工環境に置き塗膜の劣化を確認するため。
- 4.試験方法:JIS K 5551:2008 構造物用錆止めペイント 7.16 サイクル腐食性に順ずる。
- 5.試験結果:膨れ、割れ及びはがれが認められなかった。
- 6.考察:膨れ、割れ及びはがれがなく、塗膜の劣化が無いので満足していることを確認した。